

会 議 録

会議の名称	第12回 西東京市スポーツ振興審議会
開催日時	16年9月21日(月) 19時00分から21時00分まで
開催場所	教育委員会3階会議室
出席者	渡邊会長、松島職務代理、伊藤委員、能智委員、柴山委員、内田委員、蒲谷委員、田口委員、事務局 富所課長、井上係長、新井主査、神田社会教育主事
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民意向調査の設計について 2. 西東京市地域総合型スポーツクラブのその後の経過について 3. その他
会議資料の名称	資料38 西東京市スポーツ振興計画に関するアンケート調査実施要領案 資料39 スジュール(2004年9月21日現在)
記録方法	会議内容の要点記録
会 議 内 容	

会長：

会長挨拶(省略) 本日指田委員、鶴田委員より欠席する旨連絡がありました。

事務局：

配布資料確認 資料38から資料40。

会長：

9月15日に皆様から提言を頂いた当審議委員会から提言の新体育館が建つことについて関連して提言が市報掲載された審議会のPRができたと思う感謝申し上げたい。

会長：

議題1.市民意向調査の設計についてに入りたい。事務局より説明願いたい。

事務局：

来年スポーツ振興計画を策定する予定で、今年の11月頃市民意向調査を行う予定である。既に予算化し業者が決定したので業者を紹介し直接説明させて頂きたい。委託業者は、株式会社三菱総合研究所。6社のプロポーザルの中から決定された。研究員の2名紹介。調査票の素案が出来たのでスケジュール表も含めて説明させて頂きたい。

10月18日定例会の中で、本日意見頂いたものを反映できるものについては、協議していただき調査票に取り組み決定させて頂きたいと思っている。そのようなスケジュールで行きたいと思っているのでよろしく願いたい。それでは、説明に入らせて頂きたい。

業者：

資料38 アンケートの実施要領として、3つの種類を調査することになっている。1.市民アンケート2.施設登録アンケート調査3.小中高アンケート調査になっている。

1.市民アンケートは、スポーツ振興計画策定するに当たって市民の活動状況、要望の把握調査のため実施する。市内に住民票のある方。配布対象は、3,000人。サンプリンについては、市の住民票から調査する。人口の割合を出して頂きその割合から抽出する。郵送にて実施する。

3.子ども向けアンケートも必要ということで小中高アンケート調査を実施する。市内の学校の小中高の2年生各200名程度実施する。各学校を選考して調査する。回収は、学校を通じて行う。

2.施設に登録団体もある方から行う。500名程度調査する。郵送とする。

資料39のスケジュールについて説明する。(省略)。

調査票項目について説明。

一般市民向けアンケート 1.属性 2.市民のスポーツ活動の現況と課題 3.スポーツ施策への期待 4.自由記述枠

施設登録団体向けアンケート 1.属性 2.団体の活動状況について 3.スポーツ施設について 4.総合型地域スポーツクラブについて 5.自由記述枠

会長：

小中高向けアンケート 1.属性 2.スポーツへの関心 3.自由記述枠

委員：

本日配付されかなりのボリュームがある。全体の中で審議は難しい。どう言う風な意思で検討されたのか。質問項目については、安定性・信頼性・妥当性が必要だ。こう言うことが考えらる。例えば、左側の項目全て疑問に感じる。

委員：

全然見えない。ただ項目が羅列しただけで疑問に思う。

全体的に総合型スポーツクラブは、何なのかということ。

どう捕えるのか疑問に思う。私が思っている生涯スポーツ、見るスポーツ、やるスポーツ、考え方と違う。ただ形だけを捕えているアンケートになっている。一つの観点からしか書かれていない。今から1頁づつやっ行って行かないといけない。例えば、このアンケートは、なぜ20歳なのか18歳・19歳はということ。西東京の実態としてどちらの層がスポーツとしてのアンケートを求めているのか。小中のアンケートでも2年生と3年生では違う。なぜ2年生なのか。500件数についてもなぜなのか説明がなかった。事前の調査も必要ではないのか。

委員：

選択肢や質問項目の中に「その他、など」の質問がある。スポーツの具体的に書かれた方が良い。「など」という言葉は、非常に不適切ではないか。「など」と言うことは、非常に曖昧になる。

事務局：

対象者の中の小2・中2を選考させて頂いたことについては、今まで生涯学習計画を実施したこと、節目節目の進学と言うことがある。中3は、進学、小6は進学のための準備があるということ。その辺の所があった。また教育委員会の意見を踏まえ今までの経験で選考させて頂いた。対象者が20歳以上か18歳以上かは迷うところであるが、高校生から20歳のアンケートで2歳の空白が出てしまうが一般的かなと判断した経過

である。「その他、など」については、業者より説明させて頂きたい。

：業者

「その他」については、ご指摘のとおりにしたいと思う。選択しについては、「など」については、まだ調査票を作成している段階なので決めきれていないためこのような表現になっている。これを配ると言うことではない。

委員：

意向調査前に実態調査を実施しているのか。

事務局：

計画策定する前に市として相当数の専門分野で意向調査をやっている。スポーツについては、スポーツ振興審議会で最初の答申を尊重していくという考えで来年度スポーツ振興計画を策定する。

委員：

大学では事業で満足度調査をする。適切な質問項目かどうか非常に怖い調査だと思う。

市としても新市になったので、総合計画についてもスポーツのことは、一部触れているが意向調査をかけたことはない。色々な個別計画の所でスポーツはどうかということがある。市としてスポーツ施設に対して積極的に推進していくという考えがある。昨今の財政計画では、施設整備に余り賭けられない状況である。

事務局：

本日の調査票については、事前配付させて頂く予定でありましたが時間がなく。本日の配付させて頂き大変ご迷惑をおかけしました。来月までに意見を頂ければと思っている。

委員長：

いつまでに意見を言えば良いのか

事務局：

ある程度期日を限って頂ければと思っている。

委員

時間がないけど協力するが、審議会で審議して出ていくと言う結果である。委員の中でこう言う考えがある。先ほど言ったするスポーツ、見るスポーツなど話し合っていない。今総合型スポーツクラブが立ちあがったが、総合型地域スポーツを推していない。逆にここにこう言うものを創っていきたいと提案して頂ければ、我々が考えやす

いのかなと思う。例えば、スポーツはこう言え風に考えているとか。

事務局：

調査票を創る段階では、具体的に見るスポーツは、こう言うものであると表現する。次回での調査票のときには、持参したい。

委員：

その辺の考えをある程度先に出して頂かないと調査票が決まってしまう。聞いている内容が我々に共通理解していない。それが出てしまうのが怖い。

委員：

市民がどのような考えを持っているのか、既に健康推進課でやっている。調査票が出来上がっているので参考になると思う。スポーツ振興の調査については遅れている。既にほかでは答申が出ている。一連の中での市民の考え方をどうするのかと問うことがねらいだと思う。実際長時間かけて無理だと思うので、質問項目をかけて審議した方が良いのではないかと。大筋を含めて細かいことは任せて良いのではないかと。

目的は、スポーツ振興計画策定だと思う。それについてどういうアンケートを採ったら良いのかをサゼクションすれば良いのかと思う。細かい技術的なことについては、時間がないので、スポーツ振興計画を事務局としてどういう考えを持っているの聞きたい。

委員長：

全体的に見てご意見があれば。

事務局：

今回の意向調査は来年のスポーツ振興計画に沿って調査するものである。事務局と委託業者とで話し合ったイメージはある。本日は、出していないため委員から指摘されたことかなと思っている。確定ではないので、業者に委託した経緯としては、来年のスポーツ振興計画をどう言うもの策定するか前提にして調査をして頂くように指示してある。その辺がプロポーザルの採用のきっかけになっている。審議会に資料を提出したい。

委員：

今年予備調査で来年本調査か。

事務局：

今回の調査でニーズを吸い上げてスポーツ振興計画を策定していくことになる。意向は、今回で終わりとなる。3月までに納品して頂く予定である。

委員長：

スポーツ振興計画の答申とスポーツ振興計画の策定とどうリンクされているのか不明である。

事務局：

総合計画、個別計画についてもそれぞれ委託業者を活用している。答申のスポーツ振興計画の策定の基本的な考え方については、尊重し計画を策定できればと思っている。

委員長：

流れとしては理解した。事前協議では、20歳については、18歳まで入れたらとかのやりとりがあったのか。

業者：

国・東京都の計画についての色々の提案をさせて頂いた。内容については、どのような方向性が良いか協議させて頂いた。それを元に来年度計画するところの流れを計画している。若い人が多い場合、東京に通勤する人が多い、大学・企業が多いとか有るのは特性だと思う。項目として取り組む。一方、西東京市とかからわず全国的な動きとして関わるもの

、重要度についても危ないと言うことも承知しているが最近行政評価と言うことで全ての住民の満足度を書けるものではないので、ある程度優先順位をつけさせる物として設定させて頂いた。

委員長：

次回の審議は、審議する調査票を事前に送付し頂き審議した方が良い。

事務局：

先ほど委員から指摘された小中の対象学年については、10月5日に学校の校長会の役員会があるのでその中で意見を聴きたい。スポーツ振興計画の概要のイメージについては、なるべく速く提案させて頂きたい。

委員：

スポーツに関する調査であるので、狭間にある18歳からも特別支障がなければ入れたら良いのではないかと。

業者：

経験上、票数が少ないのでそれで代表制があるのか懸念される。

委員長：

何パーセントになると信頼度になるのか

100くらいが目途。一応の信頼性があると統計学上言われている。

事務局：

次年度のスポーツ振興計画を策定する際には、ヒヤリングなどを行い進めていきたい。

委員：

全体で3,000人か。20代で600人くらい。

委員：

20代の中に18歳からを入れて狭間の意見を入れたら良い。

業者：

18歳19歳を入るとしたら10代で聞き分析するときに数が少ないので20代に分析をし直すことが良いのではないか。

事務局：

この意向調査に入った骨子案の素案と調査票の案を事前送付させて頂きたい。

委員長：

本日は、この議題は終わりにしたい。次回の審議会では、事前送付資料を審議することにしたい。

会長

次の議題の総合型地域スポーツクラブについてに入りたい。この審議会にいる検討委員の委員長から説明願いたい。

委員(検討委員)： 8月23日検討委員会開催され色々意見が出た。西原のスポーツ振興施設に立ち上げたいと言うことで、体育指導委員20名の中の6名の代表がプロジェクト委員として自発的に行動を興して頂いている。検討委員の我々は、実際動けない。検討委員会は、市の総合クラブをどのように立ち上げていくのか。或いは、あり方を検討してなるべく出していく。全体の総合クラブを考えていったらどうか。実際面は、地域に密着した体育指導委員が9月1日に役員懇談会を開き我々正副委員長が出てお話を聞いた。今後検討委員会で話しをして行きたいと考えている。9月15日には体育指導委員とスポーツ振興施設利用者との懇談会をした。まだ、理解されていない部分があり9月30日に2回目の説明会を予定している。9月20日には、体育指導委員が30日の説明についての具体的な話し合いが行われ検討委員の正副委員長と行政の方も参加された。検討委員会も体育指導委員の方と連絡を密にして計画実現に当たたら

と思っている。そういうことを含めて体育指導委員会で動いていることを理解して説明を終わりにしたい。 会長：

何か質問がありますか。

委員：

スポーツクラブ設立準備検討委員会に情報は、周知徹底を図って頂きたい。スポーツクラブはいずれ自主的に運営しなければならない。事務局としてもお金の工面をしなければならない。そういう認識である。今日聞くと何回か会議をされている。そういう方法で良いのが出来ると思う。是非やって行ってもらいたい。

会長： 力強いご意見が出た。立ち上げに向かって努力して頂きたい。